



～おはなしと絵本を楽しむ～

# おはなしグループ「パルランド」通信



第23号  
2022年3月

春になりました。春は新しい出会いのとき。コロナ感染症が続き、いろいろな制限がある日々です。おはなし会も中止がつづき、子どもたちと一緒におはなしを楽しむことができなくなり、とても寂しい思いです。

けれども、そんなときだからこそ、心をほっとさせてくれる素敵なことばや物語との出会いを見つけて欲しいと思います。ボランティアが動けない分、こどもたちのすぐそばにいらっしゃる家族の間で、素敵なおはなしや絵本、わらべうたなどを肉声でこどもたちに届けてほしいと、強く願います。

よく、上手に読めないから～と言われる方もありますが、上手下手でなく、自分が楽しむことが大切で、子どもにものを教之ようとかいう教育目的でなく、一緒に物語を楽しんでくださいね。



## おすすめのおはなし



### 赤鬼エティン



イギリスの本格的な昔話。

二人の息子が旅立つときがきた。兄は母親が焼いた丸ごとだが呪いのついたパンを持って出かけるが、赤鬼エティンの出ず謎に答えられずに石にされてしまいます。

弟は、祝福のついた半分のパンを持って出かけます。途中で出会う羊飼いの予言、三つの頭の怪獣、エティンの謎。さて弟は兄を無事救いだせるのでしょうか？

独特の雰囲気を持つ骨太のスケールの大きな昔話です。

松岡享子編・訳  
子どもに語るイギリスの昔話  
こぐま社



## おすすめの絵本

### くまのコールテンくん



コールテンくんは、デパートのおもちゃ売り場に並ぶくまの人形です。誰かが自分をうちにつれていってくれるのを待っています。

ある日女の子がコールテンくんを気に入りましたが、ズボンのボタンがとれていたのが買ってもらえませんでした。そこでコールテンくんはボタンを探して、夜のデパートを歩き回るうち…

好奇心旺盛なコールテンくんは女の子だけでなく男の子にも人気のあたたかい絵本です。

ドン・フリーマンさく  
まつおかきょうこやく  
偕成社



今回のおすすめのおはなし・絵本は 1月に亡くなられた児童文学者松岡享子さんの訳の本を取り上げました。松岡さんは、たくさんのこどもたちにおはなしを語り、各地で講演もされてきました。私も人の心を養うことばの大切さについての講演をお聞きしました。この不安定な時代を力強く生きていくためにも、ことばと人の関わりを大切にしたいと思います。

## おはなしの記録 12月～2月実施

「赤ずきん」「おさらとおなべとカーテン」  
「鬼とあんころもち」「だめといわれてひっこむな」  
「ホレばあさん」



コロナ感染症でおはなし会も中止になり、残念でした。開催できるときには、感染症対策をしっかりと安全に行いました。子どもたちに少しでもほっこり楽しいひとときを味わってもらえたのでは。



## 図書館大きな子のおはなし会



～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

毎月第1土曜日 午前10時30分～  
(30分程度)  
おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など  
※予約はいりません。お気軽にご参加ください  
ただし図書館が休館のときはありません

【おはなし会のお問い合わせ】  
西脇市図書館（電話 0795-23-5991）  
パルランド 丸山（電話 090-8930-0921）

パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

